

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-2  
県産品の販路開拓・拡大の支援

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまねブランド推進課長 福岡 直 電話番号 0852-22-6858

事務事業の名称	しまね食品等輸出促進対策事業	
目的	(1) 対象	県産農林水産物と加工食品の生産者・製造者
	(2) 意図	販路の一つとして輸出を促進する
事業概要	○海外への販路拡大策を実施するとともに、多様化する県内企業のニーズに応じた取組みを後押しすることで、農林水産品・加工食品の輸出拡大を図る。 ○県内食品企業が自主的に取り組む「しまね食品輸出コンソーシアム」の活動を支援する。 ○JJA等の生産者団体の活動に対し、国・市町村や支援機関、専門家等と連携し、農林水産品のPR活動、新規販路開拓などを支援する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県内企業の貿易実績企業数	目標値	180.0	185.0	190.0	195.0	200.0	社
	式・定義 (島根県海外展開概況調査)	取組目標値						
		実績値	183.0	187.0	193.0			
		達成率	101.7	101.1	101.6	-	-	%
2	指標名 農林水産物・加工食品の輸出実績額	目標値		1,000.0	1,050.0	1,100.0	1,160.0	百万円
	式・定義 (島根県海外展開概況調査)	取組目標値						
		実績値	955.0	856.0	1,093.4			
		達成率	-	85.6	104.2	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	7,395	20,280
うち一般財源 (千円)	7,395	20,280

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○平成29年度 島根フェア実施4回・渡航者24社、バイヤー招聘商談会実施・参加者59社、海外展示会出展支援1回・参加者2社  
 ○平成29年度輸出額実績値  
 農林水産物等 276百万円(対前年比72%)  
 加工食品 817百万円(対前年比174%) ※調査対象：2016年(暦年)  
 ○JJAと専門家の勉強会の実施(2回)

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・H30年3月、JAしまねが販売戦略室を設置。生産地振興と商品提案の部署が情報連携できる形となった。
- ・平成30年3月輸出規制により約2年間中断していた牡丹苗のロシア輸出が再開されることになった。
- ・進捗があった輸出状況  
 [アメリカ]  
 対前年度比117%：144,532千円  
 主な品目) 茶、醤油、そば、練物、菓子類  
 [フランス]  
 対前年度比140%：11,382千円  
 主な品目) 醤油  
 [オーストラリア]  
 対前年度比296%：11,865千円  
 主な品目) 菓子類
- ・コンソーシアム会員の輸出の伸び  
 (H27⇒H28)  
 輸出金額 486,452千円 ⇒ 626,773千円

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
  - ・生産者団体であるJAでは販売戦略室が設置されたが、輸出に対して生産振興部門の理解が少なく輸出拡大への賛同が得られない状況がある。
  - ・県内食品加工事業者は世界各国に輸出相手先としての関心を持ち、また日系スーパー小売のみならず非日系スーパーやレストラン等の業務用への販路開拓を目指しているが、市場、食品規制、商品ニーズの情報が足りていない。
  - ・自主的な任意団体である「しまね食品輸出コンソーシアム」の事業がマンネリ化、団体として自立できていない状況がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
  - ・JA自体、イベント的、一過性の輸出が主で、継続輸出の成功体験が少ない。
  - ・現状では、欧米、欧州の日系スーパー等小売の販路開拓を中心とした事業が主となっている。
  - ・先駆者と新規参入者の経験の差により、ニーズが分散し、組織体としての方向性が定まっていない。
- ③原因を解消するための「課題」
  - ・JA自体及び県内事業者が輸出拡大に取り組めるよう、継続輸出に向けた新たな輸出戦略が必要。
  - ・欧米、欧州の非日系小売、レストラン等業務用も含め、新たな国、地域の販路開拓のための情報や販売チャンネルが不足している。
  - ・「しまね食品輸出コンソーシアム」会員の個々のニーズを取捨選択しまとめた上で、チーム力の向上が必要。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・JA、輸出専門家、県内事業者と合同で意見交換をしながら、県内の生産動向、相手国の輸出規制を踏まえた輸出可能性を探り、JA及び県内事業者の輸出戦略策定を支援。平成30年度に作成するロードマップに従い、平成31年度には戦略の実行、取組の深化を目指す。
- ・まずは成長著しく地理的にも近いアセアン地域への新展開を目指し拠点づくりを始める。欧米では現地委託業者と共に業務用、非日系スーパー等の新たな販路開拓を進める。
- ・複数の会員が連携して行うチーム力向上に資する活動を支援、アンケートを実施しニーズを把握し会員の組合せを提言、会報による情報共有、意見交換や勉強会を複数回実施し機運上昇を図る。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	しまね食品等輸出促進対策事業
---------	----------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	農林水産物・加工食品の輸出に取り組む県内事業者数	目標値			87.0	93.0	99.0	社
			取組目標値						
	式・定義	(島根県海外展開概況調査)	実績値		81.0	90.0			%
			達成率	—	—	103.5	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	